

外観



2015年4月看護学部看護学科開設に伴い、既存の幼稚園舎の跡地に、大学校舎と幼稚園舎の複合施設を建設。1・2Fに幼稚園、3～5Fに看護学部が入る。学園町キャンパスは、JR四条畷駅から徒歩1分。

トイレ入口



色分された大きなピクトグラムで、男女トイレがひと目でわかるようにしている。5Fの女性トイレ入口の正面の壁には、レストルーム（右側）とパウダールーム（左側）を示すサインを掲示している。

女性トイレ 内装



各フロアの壁紙やブラケット照明はフロアごとに変え、異なった雰囲気を出している。

4F 多機能トイレ



必要な器具をコンパクトに収めた、コンパクト多機能トイレパックを採用。オストメイトの方に配慮し、オストメイト対応トイレパックを備えている。

5F 男性トイレ 全体



環境に配慮し、大便器は5.5L洗浄のバブリックコンパクト便器を採用し、2度流しを防止する音姫（擬音装置）を搭載したウォシュレットを設置。また、衛生面にも配慮し、すべての器具はセンサー式を採用している。

5F 女性トイレ 全体



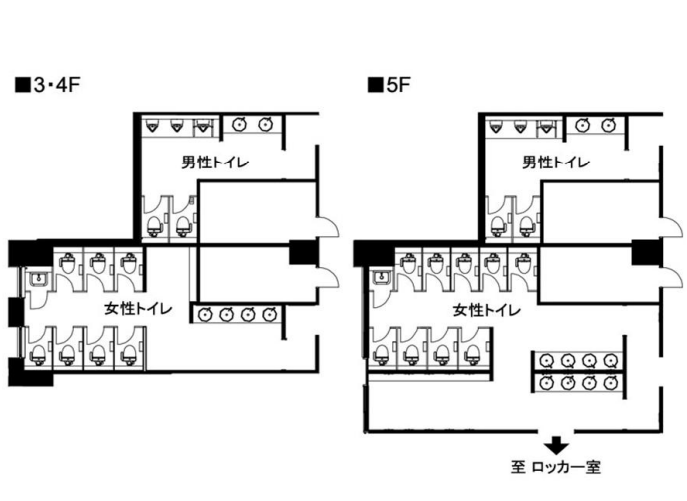
洗面器は、透明感あるガラス調素材のクリスタルボウルを採用。トイレに隣接して、看護ユニフォームへの着替えのためのロッカー室があり、パウダールームから直接出入りすることができる。

5F ラウンジ



最上階の開放感あるラウンジは、授業の合間の休憩スペースとしても活用される。一角に設置された流し台には、レバー操作時のクリック感で、お湯と水を使い分けできる、エコシングル水栓を採用。

トイレ図面



5F 女性トイレ パウダーコーナー



一度に12人が利用できる、清潔な印象のパウダーコーナー。右側のパウダーコーナーには、荷物配慮として2段式の棚を設置。下段の棚は、荷物が落ちないように奥側に傾斜をつけている。

3F 女性トイレ 洗面・パウダーコーナー



明るく清潔感ある洗面・パウダーコーナー。各フロアの女性トイレには、身だしなみをきちんと整えて実習に望めるように、パウダーコーナーを設置している。

建築概要

名 称	四條畷学園大学 看護学部棟
所 在 地	大阪府大東市学園町6番45号
施 主	学校法人四條畷学園
設 計	株式会社熊谷組 関西支店
施 工	株式会社熊谷組 関西支店
工事期間	2014年3月～2015年3月
竣工年月	2015年3月

水まわりの特長

<施設の概要>

四條畷（なわて）学園は1926年（大正15年）、四條畷高等女学校として創立され、その後、幼稚園・中学校・新制高等学校・小学校・短期大学・大学を開設し、総合学園として発展してきた。2015年4月に既存の幼稚園舎を建て替え、大学校舎と幼稚園舎の複合施設を建設。1・2Fに幼稚園、3～5Fに看護学部が入る。看護学部では、「看護を一人ひとりの人生に深くかかわる営み」と捉え、看護専門職としての高い倫理観を持った看護師の育成を行っている。臨床の現場を想定した各種実習室をはじめ、学生同士の交流の場となる開放的なラウンジ、グループワークができる学習スペースなど、最新の施設、充実の設備のもと、実践的な看護教育が行われる。

<トイレの特長>

研究室と事務室のフロアである3Fのトイレは、主に先生方が使用し、講義室と実習室のフロアである4・5Fのトイレは、主に学生が使用する。壁紙や照明器具は各フロアごとに異なったタイプを採用し、トイレの空間の演出に変化を与えている。また、日ごろから身だしなみをきちんと整えて実習に望めるように、女性トイレにはすべてパウダーコーナーを設置。なお、5Fの女性トイレは、パウダールームからロッカー室に直接出入りできるようにしている。